

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部	事業費
1. 子どもの笑顔があふれる街					
子どもを生き育てやすい環境づくり					
	P4		事業所内保育施設整備促進事業	子ども育成部	30,000
	P5		ミニ児童会館施設設備整備	子ども育成部	359,342
	P6		放課後児童クラブの充実関連	子ども育成部	182,883
	P7		地域子育て支援拠点事業関連	子育て支援部	88,812
	P8		私立幼稚園預かり保育運営支援事業費補助	子育て支援部	79,200
	P9		認可外保育施設運営支援事業費補助	子育て支援部	160,308
	P10		私立保育所整備費等補助	子育て支援部	1,610,543
	P11		子育て支援住宅の建設	市街地整備部	1,278,172
子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
	P12		子どもの学びの環境づくり事業費	子ども育成部	16,000
	P13		市立中高一貫教育校の設置	生涯学習部	138,895
				学校教育部	16,197
	P14		心のサポーター配置モデル事業	学校教育部	28,118
	P15		スクールカウンセラー等活用事業	学校教育部	4,198

目 的

仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくり
に取り組む企業の支援及び待機児童解消

(単位: 千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	10,000	30,000	-	-
(うち一般財源)	(10,000)	(30,000)	-	-

事業内容

事業所内保育施設を新たに設置する
企業に対する設置費の一部補助

補助率: 国の設置助成金の助成率に応じて次の3種類を設定

・設置費補助(12件) 30,000千円

【サンセット: H26年度末】

	定員	補助金			事業者負担
		国助成金	市補助金	合計	
国助成金対象外	5人～9人		3 / 4	3 / 4	1 / 4
国助成金対象 (中小企業)	10人～	2 / 3	1 / 1 2	3 / 4	1 / 4
国助成金対象 (大企業)		1 / 2	1 / 4	3 / 4	1 / 4

市補助金上限額 : 5,000千円
(国助成金上限額 : 23,000千円)

～子どもの笑顔があふれる街～

ミニ児童会館施設設備整備

子) 子ども育成部

目 的

すべての小学校区における放課後の居場所づくり

事業内容

小学校の余裕教室等を活用したミニ児童会館の整備（再整備 1 館を含む11館）

- ・設計、工事費 340,342千円
- ・備品購入費 19,000千円

【サンセット：H26年度末】

スケジュール

24年12月～25年2月の期間に整備工事を行い、25年4月に開設

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	78,300	359,342	-	-
(うち一般財源)	(34,466)	(224,505)	-	-



ミニ児童会館

校区内に児童会館がない小学校において、児童会館を補完するため、小学校の余裕教室等を活用し、留守家庭児童対策・全児童の放課後の居場所対策を行う施設

放課後子ども教室

余裕教室が確保できず、当面ミニ児童会館の整備が困難な小学校において実施する、全児童の放課後の居場所対策を行う事業

(単位:千円)

目的

留守家庭児童対策のサービス拡充

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	69,904	182,883	-	-
(うち一般財源)	(64,058)	(38,127)	-	-

事業内容

児童クラブや民間児童育成会の対象学年を5年生まで拡大及び児童クラブの開設時間の延長

- ・ 学年拡大 85,223千円
 - 札幌市民間児童育成会運営委員会補助金 28,399千円
 - 児童会館運営管理費 54,843千円
 - ミニ児童会館運営管理費 1,981千円
- ・ 時間延長 97,660千円
 - 児童会館運営管理費 58,792千円
 - ミニ児童会館運営管理費 38,868千円

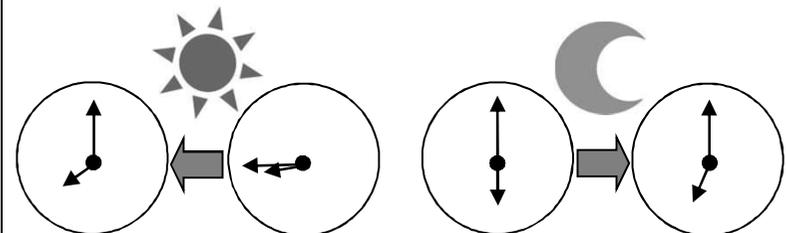
【サンセット：H26年度末】

【24年度総要求額】	
札幌市民間児童育成会運営委員会補助金	252,461千円
児童会館運営管理費	2,342,419千円
ミニ児童会館運営管理費	952,060千円

- ・ 学年拡大：1～3年生+4年生(H23年度)
+5年生(H24年度)

- ・ 時間延長：

	現状	充実後
平日	放課後～18:00	放課後～19:00
土・長期休暇	8:45～18:00	8:00～19:00



地域子育て支援拠点事業関連

子) 子育て支援部

(単位: 千円)

目 的

子育て家庭の孤立化防止や子育てに関する不安の軽減など、安心して子育てができる環境づくり

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	6,860	35,672	-	-
(うち一般財源)	(3,430)	(17,836)	-	-
事業費	7,620	53,140	-	-
(うち一般財源)	(1,444)	(26,570)	-	-

【24年度総要求額】

拠点型常設サロンモデル事業費	35,672千円
児童会館子育てサロン運営費	96,748千円

拠点型常設サロンモデル事業費

[事業費35,672千円]

NPOを含む地域の団体の活動拠点等を活用し、気軽に自由に交流や情報交換ができる常設子育てサロンを各中学校区単位の整備

- ・地域子育て支援拠点事業(ひろば型)補助金
35,672千円
2,744千円 × 13事業所

児童会館子育てサロン運営費

[事業費53,140千円]

児童会館99館で週1回実施している子育てサロンのうち30館について週3回開催して常設化

- ・児童会館子育てサロン(週3回)運営費 47,400千円
1,896千円 × 25館
- ・地域子育て支援拠点事業(児童館型モデル事業)補助金 5,740千円
1,148千円 × 5館

目的

一定の理由で家庭において保育できない児童が幼稚園に入園しやすいための環境整備による保護者の選択肢の増と待機児童の解消

事業内容

認可保育所と同程度の時間や期間の預かり保育を実施する私立幼稚園に対して、一定の理由で家庭において保育できない児童を預かる場合の運営費の支援

- ・ 通常型(150人) 14,400千円
150人×8千円×12か月
- ・ 平日型(900人) 64,800千円
900人×6千円×12か月

【サンセット：平成25年度】

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	79,200	-	-
(うち一般財源)	(0)	(79,200)	-	-

	通常型	平日型
開設曜日	月～土曜日	月～金曜日
開設時間	幼稚園の教育時間も含め、最低8:00～18:00	
休園日	日曜日、祝日、国民の休日、12/29～1/3	土曜日、日曜日、祝日、国民の休日、12/29～1/3

認可外保育施設運営支援事業費補助【新規】

子) 子育て支援部

(単位: 千円)

目的

認可外保育施設の保育の質の向上や保護者の負担軽減

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	160,308	-	-
(うち一般財源)	(0)	(131,562)	-	-

事業内容

一定の基準を満たす認可外保育施設に対する運営支援

- ・ 運営費補助 (最低基準) 57,492千円
- ・ 運営費補助 (札幌市独自基準) 102,816千円

【サンセット：平成25年度】

【補助要件】

認可外保育施設のうち、次のいずれかに該当する施設

- (1) 児童福祉施設最低基準を満たす施設
- (2) 札幌市独自基準を満たす施設

【補助対象】

保育を必要とする児童

【運営費補助単価 (児童1人あたりの月額)】

	最低基準	札幌市独自基準
0歳	72,000	24,000
1～2歳	39,000	
3歳	15,000	12,000
4歳以上	12,000	

該当年度の4月1日時点の児童年齢

私立保育所整備費等補助

子) 子育て支援部

目的

増加する保育需要への対応や老朽化した施設の改善

(単位: 千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	2,944,222	1,610,543	-	-
(うち一般財源)	(105,678)	(80,177)	-	-

事業内容

私立保育所の新築、増改築、分園整備に対し補助を行い、保育所定員を1,000人増

- ・新築費補助 1,047,822千円
- ・増改築補助 542,121千円
- ・分園整備費補助 14,000千円
- ・分園整備建物賃借料補助 6,600千円

【サンセット：H26年度末】

私立保育所整備内訳

	規模(人)	整備箇所数	定員
新築費補助	60	6	360
	90	5	450
増改築費補助	30 90	1	60
	60 90	1	30
	90 120	2	60
分園整備費補助	20	2	40
計		17	1,000

～子どもの笑顔があふれる街～

子育て支援住宅の建設【新規】

都)市街地整備部

目的

安心して子どもを生き育てることのできる居住環境の実現

事業内容

子育て世帯を対象とした市営住宅を東雁来地区に整備

- ・用地取得費 1,247,000千円
- ・実施設計等 31,172千円

想定総事業費 3,673百万円

スケジュール

- H24 用地取得、実施設計
- H25～26 1号棟建設(5F40戸)、集会所建設
- H26～27 2号棟建設(5F40戸)
- H27～28 3号棟建設(5F40戸)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	1,278,172	-	-
(うち一般財源)	(0)	(4,147)	-	-



団地集会所を活用して実施する子育てサロンのイメージ
(道営住宅の例)

目的

不登校の子どもたちの社会的自立を支援するための学びの環境整備

(単位: 千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	16,000	-	-
(うち一般財源)	0	(16,000)	-	-

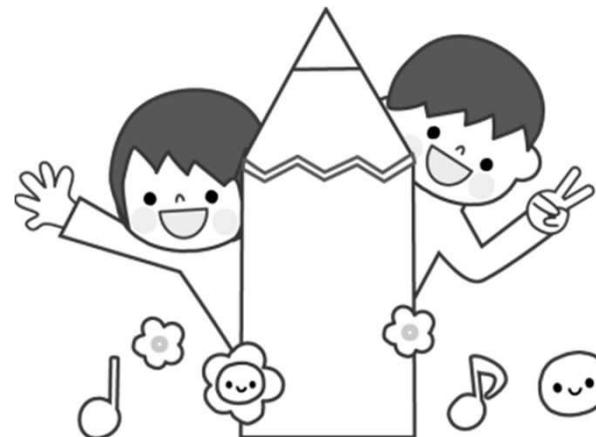
事業内容

不登校児童生徒の受け皿となっているフリースクールなど民間施設に対する支援の実施

- ・事業補助：16,000千円
1団体あたり平均2,000千円×8団体として積算

【補助制度について】

区分	補助対象
職員配置の充実	必要教員の確保
	カウンセラーの配置
活動の充実	教材・教具の整備
	体験学習・実習費
	施設借上料



(単位:千円)

目的

生徒1人ひとりに対して、主体的で意欲的な学習を促し、資質や能力を最大限に伸ばさせる選択肢の広い教育が求められていることから、市立高校の特色化に加え、新たな選択肢として市立の中高一貫教育校(中等教育学校)を設置

学校新築

[事業費138,895千円]

開成高等学校を改編し、中高一貫教育校を全面改築のうえ設置

- ・基本及び実施設計 138,895千円

想定総事業費	3,919百万円
開校予定	平成27年4月

市立中等教育学校開校準備事業

[事業費16,197千円]

中高一体となった教育課程や生徒指導方針等の整理、開校準備室の設置等

- ・開校準備 16,197千円

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	13,000	138,895	-	-
(うち一般財源)	(13,000)	(138,895)	-	-
事業費	0	16,197	-	-
(うち一般財源)	(0)	(16,197)	-	-

市立中高一貫校(中等教育学校)の基本的枠組み



心のサポーター配置モデル事業【新規】

教) 学校教育部

目的

子ども一人一人の状況に応じたきめ細かな支援を行い、子どもの不登校状況を改善

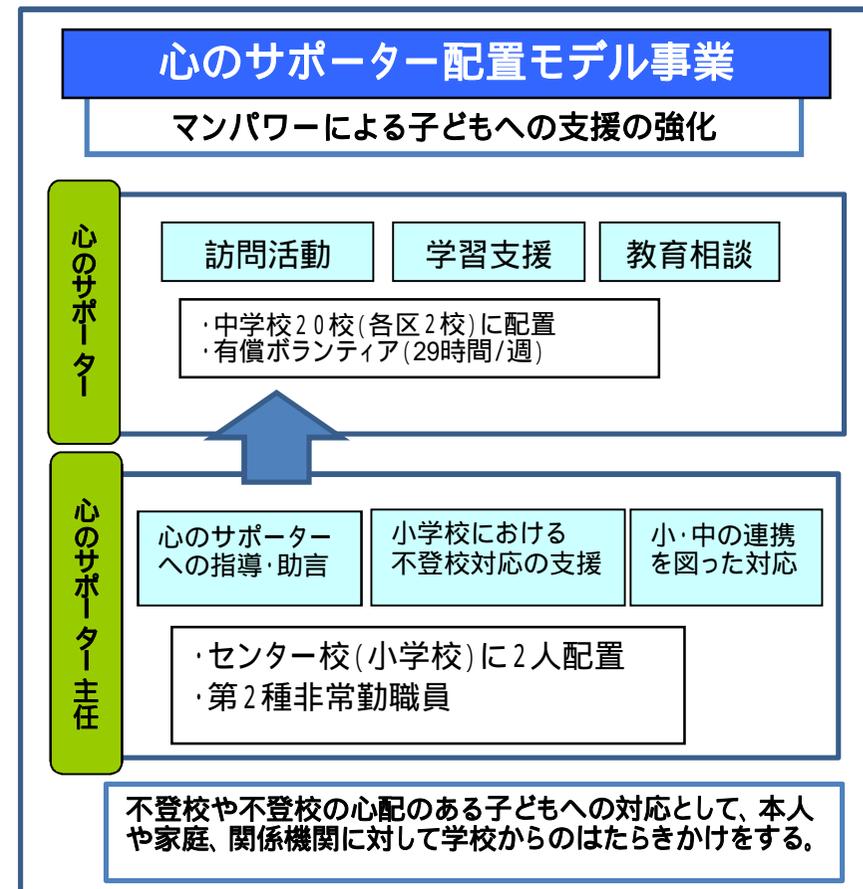
	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	28,118	-	-
(うち一般財源)	(0)	(28,090)	-	-

事業内容

学校に「心のサポーター」及び「心のサポーター主任」を配置し、教員が心のサポーター等とともに個別指導や関係機関と連携

- ・心のサポーターの配置(20校) 20,364千円
- ・心のサポーター主任の配置(2人) 5,603千円
- ・その他事務費等 2,141千円

サポーターは中学校、主任は小学校に配置



スクールカウンセラー等活用事業

教) 学校教育部

(単位: 千円)

目的

学校における教育相談の充実や学校だけでは解決困難な事案に対して関係機関と連携を図る

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	3,152	-	-
(うち一般財源)	(0)	(2,102)	-	-
事業費	0	1,046	-	-
(うち一般財源)	(0)	(697)	-	-

【24年度総要求額】

スクールカウンセラー活用事業費 213,532千円
 スクールソーシャルワーカー活用事業費 6,276千円

スクールカウンセラー活用事業

[事業費3,152千円]

学校へのスクールカウンセラー（臨床心理士等）の配置

- ・ 小学校への配置時間増分 3,152千円
45時間/校 48時間/校

学校への支援

教員からの相談に対する助言

児童生徒の対応について教員との打ち合わせ

校内の会議に参加・講師

児童生徒への支援

不登校児童生徒のカウンセリング

友人関係の悩み等児童生徒のカウンセリング

保護者との面談やカウンセリング

スクールソーシャルワーカー活用事業

[事業費1,046千円]

スクールソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）に委嘱し、困難な事案に関係機関と連携して対応

- ・ スクールソーシャルワーカー増員分 1,046千円
6人体制（1人増）

【校内体制づくり】

- ・ 校内チーム体制の構築
- ・ 教職員のサポート
- ・ 教職員等への研修

【家庭環境への働きかけ】

- ・ 学校や関係機関への接続
- ・ 相談活動

【ネットワークの構築】

- ・ 関係機関との調整
- ・ 情報、行動連携